

兵曹、水兵	五十六人	掌砲兵 (高三) 掌測的兵 (高一、高一、高一) 掌帆兵 (高一) 掌信號兵 (高三、高三、高三) 掌電信兵 (高三)
整備兵曹、整備兵	百三人	掌整備兵 (高三) 掌航空兵器兵 (高三、高三) 射爆 (三、三、三) 射爆 (〇、八) 寫眞 (高三、高三)
機關兵曹、機關兵	五十人	掌機兵 (高三) 主機 (高三) 掌電機兵 (高三、高三) 掌内火兵 (高三)
工作兵曹、工作兵	二十七人	鍛冶 (高三) 機械 (高三、高三) 仕上 (高三) 航空板金 (高三) 航空熔接 (高三) 鑄造 (高三) 木具 (高三、高三)
衛生兵曹、衛生兵	七人	
主計兵曹、主計兵	三十人	掌經理兵 (高三) 掌衣糧兵 (高三、高三、高三、高三、高三、高三)
備考兵曹二人、整備兵曹四十人、機關兵曹四人及工作兵曹十二人、教員ニ充ツ		

内令第千二十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

本令ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十二特別根據地隊

兵	科	尉	官	隊附	一人
中少尉(飛)	飛行兵曹長	隊附	二人		
中少尉(整)	整備兵曹長	隊附	一人		
飛行兵	曹		十五人	(掌飛行兵(操八)	
整備兵	曹		六十二人	(掌整備兵(二)	
				(掌航空兵器兵(射爆)四)	
衛生兵	曹	衛生兵	二人		
主計兵	曹	主計兵	四人		

内令

100H

1155

内令

内令第千二十五號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

一〇〇四

驅逐艦 朝 霜

伊號第四十六潜水艦

海防艦 平 戸

海防艦 御 藏

第四十六號驅潜艇

第四十七號驅潜艇

特務艦 波 勝

驅逐艦 沖 波

驅逐艦 岸 波

呂號第四十五潜水艦

呂號第四十七潜水艦

1156

内令提  
要登載

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト假定ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千二十六號

潜水隊編制中左ノ通改定セラレ

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十四潜水隊ノ項中「伊號第八、」ヲ削ル

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第千二十七號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一〇〇五

1157

驅逐艦、一等夕雲型ノ項中「濱波」ノ下ニ「、沖波、岸波、朝霜」ヲ加フ  
潜水艦、一等伊十六型ノ項中「伊號第二十四」ノ下ニ「、伊號第四十六」ヲ加ヘ、同伊五十二型ノ  
項中「、伊號第五十四」ヲ削リ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

伊五十四型 伊號第五十四

同二等呂三十五型ノ項中「呂號第四十四」ノ下ニ「、呂號第四十五」ヲ、「呂號第四十六」ノ下ニ  
「、呂號第四十七」ヲ加フ

海防艦、占守型ノ項中「若宮」ノ下ニ「、平戸」ヲ加ヘ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

御藏型 御藏

驅潜艇、第十四號型ノ項中「第四十五號」ノ下ニ「、第四十六號、第四十七號」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

内令提  
登載

内令第千二十八號

特務艦類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

標的艦ノ部中「矢風」ノ下ニ「波勝」ヲ加フ

(内令提要卷三、四〇頁參照)

内令第千二十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八艦隊司令部

整備兵曹、整備兵

四十人

内令

1007

1159

内令第千三十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一航空艦隊司令部

中少尉(整)、整備兵曹長 附

二人

兵 曹、水 兵

十四人 (掌暗號兵 四)

整備兵曹、整備兵

百三十人 (掌整備兵 二三)

機關兵曹、機關兵

十人 (掌電機兵 二)

主計兵曹、主計兵

七人

内令第千三十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1160

大村海軍航空隊

兵 曹 一人(掌暗號兵)

内令第千三十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設測量艦第三十六共同丸

兵 曹、水 兵 一人(掌水測兵)

内令第千三十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第千四百二號中「五人(掌經理兵 一)」ヲ「七人(掌經理兵 一)(掌衣櫛兵 一)」ニ改ム

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一〇〇九

1161



丙 令

一〇一〇

特設潜水母艦平安丸、日枝丸、靖國丸

主計科尉官 乗組 一人

参照 昭和十六年内令第千四百二號ハ特設潜水母艦平安丸ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千三十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍工廠

兵科 佐官 出仕 一人

内令第千三十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

本令ハ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年六月一日ヨリ施行ス  
昭和十九年六月一日ヨリ施行ス

1162

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第百一海軍燃料廠「ニューギニア油田調査開發隊ニ充ツベキモノ」

少	將、大	佐	出仕	一人
中	少	佐	出仕	一人
軍	醫 中	少 佐	出仕	一人
軍	醫 科 尉	官	出仕	二人
主	計 中	少 佐	出仕	一人
主	計 科 尉	官	出仕	二人
技	術 科 尉	官	出仕	十五人(技師(臨時)ヲ以テ充ツルコトヲ得)
機	中少尉(水)、(機)、兵曹長	長	附	五人
機	關 兵 曹 長	長	附	一人
衛生	中少尉、衛生兵曹長	長	附	一人
主計	中少尉(主)、主計兵曹長	長	附	一人
兵	曹、水 兵			十六人(掌帆兵 二、掌電信兵 二)

内 令

一〇二一

内令

1013

機關兵曹、機關兵	十人
工作兵曹、工作兵	八人(掌工兵(金工 木具))
衛生兵曹、衛生兵	八人
主計兵曹、主計兵	六人
書記	臨時四人

内令第千三十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一潜水艦基地隊

兵曹 二人(掌機雷兵)

内令第千三十七號

昭和十七年内令第千三百八十八號中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「二十七人」ヲ「二十九人」ニ、「工作兵曹、工作兵 一人」ヲ「工作兵曹、工作兵 二人」ニ改ム

参照 前記内令ハ第四艦隊司令部（救難船離島ノ乗員ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千三十八號

特型運貨船操縦講習關係員ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀第一海兵團

兵 科 佐 尉 官

分隊長兼  
教官 一人

中少尉（水）、兵曹長

附兼教官  
（教員） 一人（横須賀鎮守府在籍者）

中少尉（機）、機關兵曹長

附兼教官  
（教員） 二人（横須賀、佐世保鎮守府在籍者 各一）

兵 曹

（教員） 七人（掌帆兵 舵）  
（横須賀、吳、佐世保鎮守府在籍者 各二）  
（舞鶴鎮守府在籍者 一）

内 命

一〇一三

1165

内令

一〇一四

機 關 兵 曹 (教 員) 十人 (掌内火兵) (横須賀、吳、佐世保鎮守府在籍者 各三)

内令第千三十九號

對空射擊指揮官及防空隊陸戰隊小隊長講習關係員ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

横須賀海軍砲術學校

兵 科 佐 尉 官 教 官 二 人

兵 曹 (教員) 四 人 (掌砲兵 高)

水 兵 九 人

館山海軍砲術學校

兵 科 佐 尉 官 教 官 一 人

兵 曹 (教員) 一 人 (掌砲兵 高)

水 兵 二 人

内令第千四十號 (所要ノ向ニ配付ス)

内令第千四十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十二航空艦隊司令部

中少尉(水)、兵曹長

附

五人

(横須賀、吳、佐世保領守府在籍者 各一、舞鶴領守府在籍者 二)

兵 曹、水 兵

四十九人

(掌電信兵 二九、横須賀領守府在籍者 各一、舞鶴領守府在籍者 各一、横須賀領守府在籍者 一、四〇五、掌暗號兵 二〇、舞鶴領守府在籍者 各一)

内令

1017

1167



内令第四十二號 昭和十八年内令第七四三號  
 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四五二海軍航空隊

中少尉(水)	(機)	兵曹長	機關兵曹長	隊附	一人
主計中少尉(主)	主計兵曹長	隊附	一人		
兵	曹、水	兵	七人(掌信號兵 一)		
機關兵	曹、機	關兵			
整備兵	曹、整	備兵	百二人(掌整備兵 二一) (掌航空兵器兵 六一)		
工作兵	曹、工	作兵	八人(掌工兵 航機板金 五三) (木 具 五)		
衛生兵	曹、衛	生兵	三人		
主計兵	曹、主	計兵	九人(掌經理兵 一)		

内令

一〇一九

内令第千四十三號

現ニ特設運送船ノ固有ノ船員ハ辭令ヲ用ヒズシテ當該特設運送船乗組ヲ命ゼラレタルモノトス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千四十四號

自今特設運送船ノ固有ノ船員ト爲リ又ハ其ノ退船シタルトキハ辭令ヲ用ヒズシテ各其ノ日ヲ以テ當該特設運送船ノ乗組ヲ命ゼラレ又ハ乗組ヲ免ゼラレタルモノトス

昭和十八年五月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

1011

1169



内令撰  
要登載

内令第四十五號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

舞鶴鎮守府ノ部舞鶴防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第二十一號」ノ次ニ「第二十八號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令撰  
要登載

内令第四十六號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

昭和十八年五月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

呂號第三十六潜水艦

内令撰  
要登載

内令第四十七號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

内令

10113

(前送ノモノト引換ヘ舊紙ハ燒却相成度)

1170

内令提  
要登載

内令

昭和十八年五月二十七日

海軍大臣 鳴田 繁太郎

二等潜水艦定員表其ノ一中「第三十五」ノ下ニ「第三十六」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ六八頁参照)

内令第四十八號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十七日

海軍大臣 鳴田 繁太郎

特修兵配置表其ノ十七中「第三十五」ノ下ニ「第三十六」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三二頁参照)

一〇二四

1171

内令第千四十九號

昭和十七年内令第八百四十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「臨時五人」ヲ「臨時八人」ニ改ム

参照 前記内令ハ水路部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千五十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第千十八號<sup>ス</sup> 昭和十八年内令第二百三十四號<sup>ス</sup> 同年内令第六百四十六號ハ之ヲ廢止

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一魚雷調整班

内令

一〇二五

1172

特務士官(機)、機關兵曹長 班員 一人

機關兵曹、機關兵 十五人

(掌機兵 補機 普高 普三)

第二魚雷調整班

特務士官(機)、機關兵曹長 班員 一人

機關兵曹、機關兵 六人

(掌機兵 補機 普高 普二)

第三魚雷調整班

特務士官(機)、機關兵曹長 班員 一人

機關兵曹、機關兵 十人

(掌機兵 補機 普高 普二)

参照 昭和十七年内令第千十八號ハ吳海軍軍需部(魚雷調整場關係業務ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

昭和十八年内令第百三十四號ハ横須賀海軍軍需部(魚雷調整場關係業務ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

同年内令第百四十六號ハ佐世保海軍軍需部(魚雷調整場關係業務ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

廢止

内令第一千五十一號(所要ノ向ニ配付ス)

内令第一千五十二號

昭和十八年内令第九百三十一號  
ニテ本號廢止

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第九百三十一號中

「工作兵曹、工作兵  
衛生兵曹、衛生兵

十九人(掌工兵)  
三人

「衛生兵曹、工作兵長  
工作兵曹、工作兵  
衛生兵曹、衛生兵  
計

十九人(掌工兵)ニ改ム  
一人  
一人

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

千島方面特別根據地隊

中少尉(水)、兵曹長 隊附 一人

兵 曹、水 兵

九人(掌電信兵四)

參照 昭和十八年内令第九百三十一號ハ千島方面特別根據地隊ニ人員臨時増置ノ件

内令

一〇二九

1174

内令第千五十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八海軍軍需部

軍醫科 尉官 部員

衛生兵曹、衛生兵

兼務二人(第一根據地隊司令部附及第二根據地隊司令部附ノ兼務)  
三人

内令第千五十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設潜水母艦靖國丸

主計兵曹、主計兵

一人(掌經理兵)

1175

内令第千五十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四十三警備隊

工作兵曹、工作兵

六人(掌工兵(鍛冶板金) 一(機械) 一(仕上))

内令第千五十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三十一警備隊

兵科 尉官 隊附 一人

兵曹、水兵 六人(掌帆兵(掌帆號兵) 一)

機關兵、工作兵 二人

内令

10111

内令

10111

内令第五十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦阿賀野

兵 曹、水 兵 七人(掌砲兵<sup>高</sup>三)

内令第五十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十港務部

兵 曹 二人  
水兵、機關兵 四人  
(特修兵適宜)

1177



内令第五十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八艦隊司令部

中少尉(機)、機關兵曹長 附

一人

兵 曹 一人(掌砲兵又ハ掌水雷兵)

内令第六十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第五十三號中「風雲、夕雲」ヲ削ル

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦夕雲、秋雲

内令

10333

1178

内令

1034

兵 曹、水 兵 七人(掌砲兵 三)  
驅逐艦風雲

兵 曹、水 兵 六人(掌砲兵 二)

参照 昭和十八年内令第五百十三號ハ驅逐艦初雪等ニ人員臨時増置ノ件

内令第六十一號

昭和十九年三月三十一日迄左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空本部

大 中 佐 出仕 一人

技術大 中 佐

中 少 佐

技術中 少 佐 部員 二人

1179

<p>内令第六十二號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十八年五月二十八日 海軍大臣 嶋田繁太郎 第九特別根據地隊 主計中少尉 隊附 一人</p>	<p>内令第六十三號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十八年五月二十八日 海軍大臣 嶋田繁太郎 軍艦瑞鶴 主計中少尉 乗組 一人</p>	<p>内令第六十四號 左ノ内令ハ昭和十八年五月三十一日限り之ヲ廢止ス(終)</p>
--	--	---

内令

一〇三五

内令

一〇三六

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十七年内令第千二百二十八號

(横須賀鎮守府(了)廠(假稱)設立準備  
ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

○正誤

同 年内令第千六百八十三號

(横須賀海軍工廠(横須賀海軍工廠造兵部分工場  
ノ職員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

○正誤

同 年内令第二千三十九號

(横須賀鎮守府(沼津海軍工廠(假稱)設立  
準備ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

○正誤

昭和十八年内令第百十五號

○正誤

○正誤

本年内令第九百八十九號中「(八人掌氣象兵)」ハ「八人(掌氣象兵)」ノ誤

内令第千六十五號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊警備府ノ部大湊防備隊ノ項掃海特務艇ノ欄ニ「第十七號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令

千七百一

1182

内令第千六十六號

昭和十八年内令第百五十三號中「夕風」ヲ「秋風」ニ改ム

同年内令第百五十七號中「八丈」ノ下ニ「松輪、佐渡、隠岐、擇捉」ヲ加フ

同年内令第四百二十七號中「兵曹、水兵一人」ヲ「兵曹、水兵三人」ニ改ム

昭和十七年内令第千三百六十一號ハ之ヲ廢止

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十七年内令第千三百六十一號ハ聯合艦隊司令部(潜水艦用特殊大發艇員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増設ノ件

同 昭和十八年内令第百五十三號ハ驅逐艦初等ニ人員臨時増設ノ件

同 年内令第百五十七號ハ海防艦石垣等ニ人員臨時増設ノ件

同 年内令第四百二十七號ハ潜水艦ニ特製運貨船搭載ノ場合人員臨時増設ノ件

内令

一〇三九

内令第六十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍工作部

中少尉(水)、(機)、兵曹長

機 關 兵 曹 長

附 一人

内 令

1041

1184



内令第千六十八號 昭和十八年内令第千六十八號  
當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

千島方面特別根據地隊

兵科 佐官 隊附 一人

内令

1043

1185



内令  
要登載

内令第六十九號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

運送艦定員表其ノ七中「白埼」ノ下ニ「荒埼」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ九九頁参照)

内令  
要登載

内令第七十號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十九運送艦ノ部中「白埼」ノ下ニ「荒埼」ヲ加フ  
同表備考第三號中「白埼」ノ下ニ「荒埼」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三八頁参照)

(内令ハ 第六十七號 第六十八號 後送ス)

内令

一〇四五

1186

提載

内令

一〇四六

内令第七十一號

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト定メラル

特務艦 荒埼

舞鶴鎮守府在籍

特務艦 荒埼

右在役特務艦ト定ム

昭和十八年五月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1187

内令  
要登載

内令  
提登載

内令第七十二號

潜水隊編制中左ノ通改定セララル

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十三潜水隊ノ項ヲ削ル

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第七十三號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メララル

驅逐艦 若月

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メララル

海防艦 壹岐

吳鎮守府在籍

海防艦 壹岐

内令

一〇四七

1188

内令

一〇四八

右警備海防艦ト定メラル

第四十二號驅潜艇

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

横須賀鎮守府在籍

第四十二號驅潜艇

右警備驅潜艇ト定メラル

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十八年五月三十一日

内令第七十四號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部第十二特別根據地隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

内令  
要登載

1189

第二十一特別根據地隊

第百六號

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令提  
要登載

内令第七十五號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅潜艇定員表其ノ二中「第四十一號」ノ下ニ「、第四十二號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ八四頁参照)

内令提  
要登載

内令第七十六號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一〇四九

1190

内令

一〇五〇

内令提  
要登載

特修兵配置表共ノ十八驅潜艇ノ部中「第四十一號」ノ下ニ「第四十二號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三四頁参照)

内令第七十七號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等驅逐艦定員表共ノ七中「新月」ノ下ニ「若月」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ五〇頁参照)

内令提  
要登載

内令第七十八號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令提  
要登載

内令提  
要登載

特修兵配置表共ノ十四中「新月」ノ下ニ「若月」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ二五頁参照)

内令第七十九號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海防艦定員表中「擇捉」ノ下ニ「壹岐」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七二頁参照)

内令第八十號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年五月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一〇五

内令

特修兵配置表其ノ十七ノ二中「擇捉」ノ下ニ「壹岐」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三三頁参照)

一〇五二

1193